

会 議 録

会 議 名	令和 6 年度 第 5 回東松山市子ども・子育て会議					
開 催 日 時	令和 7 年 2 月 1 4 日（金）			開 会	1 5 時	
				閉 会	1 6 時	
開 催 場 所	東松山市総合会館 3 階 3 0 3 会議室					
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 東松山市こども計画の策定について 4 その他 5 閉会					
公開・非公開の別	公開		傍 聴 者 数		3 名	
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	峯 岩男	出席	委 員	大辻 猛	出席
	副会長	田中 美智子	欠席	委 員	岡部 洋	欠席
	委 員	岩本 教裕	出席	委 員	関口 恵子	出席
	委 員	服部 孝	欠席	委 員	庭野 さやか	出席
	委 員	山本 和順	欠席	委 員	岡部 菜摘	欠席
	委 員	川口 明子	出席	委 員	前田 菜摘	欠席
	委 員	木村 貴世	出席			
事 務 局	こども家庭部長 神庭 法子			保育課長 阿部 康裕		
	こども家庭部次長 加藤 勝子			保育課副課長 山崎 恵子		
	こども支援課長 大石 和夫			健康推進課長 落合 要之		
	こども支援課こども家庭センター副所長 高瀬 裕昭			学校教育課副主幹 波塚 裕紀		
	こども支援課副課長 小山 亜耶			社会構想研究所 森 すぐる		
	こども支援課主任 白川 幸恵					

次 第	顛 末
1 開 会	事務局：大石課長
2 あいさつ	峯会長
3 協議事項	(峯会長) それでは、議事に入らせていただきますが、その前に2点、議事録の署名委員と会議の公開について確認させていただきます。 まず、本日の議事録に署名をいただく委員を指名させていただきます。川口委員と木村委員にお願いしたいと思います。 — 川口委員と木村委員 了承 — 次に、会議の公開についてですが、本日の協議事項は、非公開とする協議事項はなく、公開としたいと思いますが、委員の皆様よろしいでしょうか。 — 一同了承 — それでは、本会議は公開とします。 事務局にお伺いします。本日、傍聴人はいますか。 (事務局) 3人です。 (峯会長) 傍聴人の入室をお願いいたします。 それでは、協議事項に進みたいと思います。東松山市こども計画の策定について事務局から説明をお願いします。 (事務局：小山副課長) — 資料「東松山市こども計画案（以下『計画案』）」と参考資料「パブリックコメント手続結果（案）」について説明 — (峯会長) パブリックコメントでいただいたご意見、また、意見に対する市の考

え方について説明がありました。

この件について、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

(岩本委員)

参考資料のNo. 1の「意見に対する市の考え方」において「いただいた具体的なご意見につきましては、関係各課と共有し、参考意見とさせていただきます。」という記載だが、No. 2の「意見に対する市の考え方」においては「～支援を行います。」という記載のため、計画案を修正するということに捉えられるのではないのでしょうか。

したがって、記載の仕方が十分であるのか検討が必要と思われます。

また、「関係各課」と「担当課」と記載の違いがあるが、これは担当が単独の課なのか複数であるかの違いなののでしょうか。

(事務局)

庁内の全体的な報告の仕方を確認したうえ検討いたします。

また、「関係各課」と「担当課」の違いにつきましては、担当するかが絞られる場合には「担当課」、複数の課に関係する場合には「関係各課」と記載しております。

(岩本委員)

ありがとうございました。

(峯会長)

ただ今記載についてご意見がございました。

その他、何がご意見はございますか。

— 意見なし —

パブリックコメントのご意見として、不登校についてのものがありましたが、不登校の子の人数は憂慮すべき人数であり、起因はさまざまと思われると思います。したがって一括りの対策では解消されないでしょう。こどもの立場に寄り添えるソーシャルワーカーや専門員を派遣し、学校の相談室において受け入れやすい環境が必要になってくるのではないのでしょうか。

それ以外に何かございますか。

(木村委員)

不登校について、主任児童委員として連絡協議会で小・中学校に伺っておりますが本当に多いです。先生も数が少ないことから、自宅に迎えに行くなどの対応はとてもできないですし、スクールソーシャルワーカーの先生も2名いるが受け持っているケースが多すぎて対応しきれない状況です。

親が困っていて市役所や学校へ相談しているのであればまだ良いが、親がこどもに興味がなく自宅にいれば良しとし、そのまま日数が過ぎてしまうこともあります。家にいれば同じ毎日が過ぎていくだけなので学校に行きたい、でも勇気が出ないのでどうしたらいいのかわからないという現実があるので、不登校対策については、こどもの気持ちに寄り添えるように人員を増やしていただけたらよいかと思います。

(峯会長)

ありがとうございました。確かに人員が足りないということもあると思いますが、こどもの気持ちに寄り添った対応ができるように、関係機関だけでなく、例えば幼稚園など地域を活かした対応が必要だと思います。

その他に何かご意見はございますか。

(関口委員)

不登校の対応について、幼稚園など地域を活かすという話が出ましたが、お年寄りの方と交流することも必要であり、相互で助け合える関係が作れたら、こどもたちは「認められた」という気持ちになると思います。小さなこどもの預かりで「ファミリー・サポート」があると思いますが、こちらを応用するようなかたちで不登校のこどもの交流の場ができるのではないのでしょうか。

(峯会長)

老若男女含め、こういったところに教育力があるのか検討し、相談員のみに頼るのではなく、そういった捉え方が必要になるのではないかと思います。

他にご意見等がありましたらお願いします。

(岩本委員)

「参考資料」 3 ページの「提出された意見により修正した箇所とその理由」についての意見が 2 点あります。

1 点目は、不登校の子は保健室に登校しているという現状がありますが、このような現状を踏まえて、様々な自治体が不登校に対応するような場を用意し職員を配置していると聞いています。当市においても同様の取組があるような話を聞いておりますが、この計画にどのように盛り込むのか、またはこのまま計画には掲載しないで進めていくのでしょうか。

(事務局：小山副課長)

東松山市こども計画につきましては、各こども施策の大枠の方向性について記載しておりますので、具体的な内容につきましては、今後事業を実施していくなかで進めていきたいと思ひます。計画につきましては、このままの記載にさせていただきます。

(岩本委員)

ありがとうございました。

では、2 点目です。同じく「参考資料」 4 ページの「提出された意見により修正した箇所とその理由」にある「計画書 6 4 ページ」に記載されている「すにいかあプラン」についてですが、下部に内容については注釈がありますが、「すにいかあ」という言葉の意味については記載がありません。なぜ「すにいかあ」という名称なのかご存じでしょうか。恐らくほとんどの方は知らないと思ひますので、注釈に記載していただくと良いかと思ひます。

(峯会長)

わかりやすい具体的な内容での記載が良いかと思ひます。「すにいかあ」の言葉の意味はどのようなものなのでしょうか。

(事務局：波塚副主幹)

私からご説明させていただきます。「すこやかに、にこやかに、いきいきと、かがやく瞳、あゆむ子ども」の頭文字をとって名付けられております。

(岩本委員)

非常に素敵な名称がつけられていますので、思いを繋いでいくためにも、ぜひ記載をしていただきたいと思います。

(峯会長)

貴重なご意見ありがとうございます。

(川口委員)

10年以上前になるかと思うのですが、学校に行けなくなった中学生たちに、市の総合会館で適応学級に出席してもらおうというものがあったのですが、総合会館ではもう行われていないのでしょうか。

(事務局：波塚副主幹)

恐らくその時期ですと、現在の総合教育センターができる前で、総合会館2階に総合教育センターがあったことがあります。そちらでお子さんをお預かりしていたことがあります。現在の総合教育センターは大字松山にあり、「ふれあい教室」という名称で不登校のお子さんが通ったりしております。

(峯会長)

ありがとうございました。

他にご意見がございますか。

— 意見なし —

(峯会長)

つづいて、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局：小山副課長)

— 「参考資料」4ページの「パブリックコメント以降、事務局による主な修正内容」について説明 —

(峯会長)

パブリックコメント後の事務局による修正箇所について説明がありました。

この件について、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

— 意見なし —

(峯会長)

ないようですので、こちらの議題につきましては終了といたします。
その他、事務局より説明はございますか。

(事務局：小山副課長)

その他ということで2点お伝えいたします。

まず、計画案の46ページをご覧ください。計画の策定にあたり、ロゴマークを作成いたしました。今後、各種子育て支援事業の周知をする際に使用いたします。

2点目です。本日、今年度最後の子ども・子育て会議となります。3月中旬頃の完成に向けて、計画内容を今月中にまとめたいと考えております。お忙しいところ大変恐縮ではありますが、再度計画案をご確認いただき、何かお気づきの点がありましたら、2月21日金曜日までに事務局までご連絡ください。

今年度は計画策定にあたり、数多く会議にご出席いただきありがとうございました。委員みなさまそれぞれのお立場からの貴重なご意見・ご助言をいただきましたことに感謝申し上げます。

事務局からは以上となります。

(峯会長)

ただいまの説明につきまして何かご意見やご質問はございますか。

(岩本委員)

計画案46ページのロゴマークについて、とても良いと思うのですが、表紙や裏表紙には載せないのでしょうか。

(庭野委員)

ロゴのクオッカを親子にするなどしてもよいのではないのでしょうか。

(事務局：大石課長)

表紙のデザインにつきましては検討いたします。

	(峯会長) これで予定された議事について終了しましたが、ほかに、委員の皆様から、何かご意見、ご質問はございますか。 — 意見なし — (峯会長) それでは、協議事項については以上とし、議事が終了となりますので、議長の役を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。 以 上
4 その他	(事務局) 放課後居場所緊急対策事業について 会議録の公表について 今後の予定について
5 閉会	あいさつ：神庭部長
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 令和7年3月13日 署名委員 <u>川口 明子</u> 署名委員 <u>木村 貴世</u>	